

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	韓国朝鮮語第一（再履）		
英文授業科目名	Elementary Korean I		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目ⅠⅠ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廉 東浩		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
韓国語の読み・書きができ、 韓国語の基本会話ができるようにする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
韓国語を学ぶ（CD付） 初級 李昌圭 朝日出版社

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

下記のような内容を順に進めていきます（状況によって前後することもあり得る）。

1) 進め方：韓国語の基本をマスタできるよう文字の読み方や書き方から丁寧に時間をかけて進める。

2) 前期の学習内容：

1. 文字が読めるようにする。 2. 文章の構造を理解する。 3. 基本的な会話表現を学習する。 4. 辞書の引き方を練習する。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：期末試験及び小テスト結果より総合評価する。

成績評価：平常点（小テスト、出席率、授業参加度など）：30%

期末試験：70%

最低評価基準：出席率70%以上であること。期末テストを受けることを最低評価基準とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

- ・授業の前後で解決できない個別相談は事前に電子メールなどで時間を決める。
- ・質問等は電子メールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

異文化を理解する上で一番大切なのは言語だと思います。

受講に当たってもっとも求められるものは、隣国韓国とその文化に対する興味と関心、そして「やる気」です。

韓国語で挨拶してみましよう！！

### 【その他】